

令和3年5月19日

2年生
保護者様
生徒のみなさん

京都市立紫野高等学校
校長 砂田 浩彰

海外研修旅行の中止と代替行事についてのお知らせ

若葉の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

さて、昨年度にご案内のとおり、本校は令和3年3月に予定されていた研修旅行を同10月に延期し、海外への渡航の可能性を探って参りました。

しかしながら、先月末4都府県に3回目の非常事態宣言が出され、さらに拡大延長されたように、新型コロナウイルス感染症の猛威は今後も終息していく見通しが立ちにくい状況です。また、10月に海外渡航が困難な場合、令和4年3月に再延期しての実施も検討しておりましたが、取扱業者のJTBによれば、来年3月に世界の感染状況が好転しているとは考えにくいとの予想でした。

このような状況を踏まえ、難しい決断ではありますが、海外渡航を断念し、10月に国内研修に切り替えることで、高校生活における旅行・集団宿泊的行事の体験を確保することを優先しようと判断するに至りました。以下に検討経過と今後の見通しについてご説明させていただきます。

何卒、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【JTBとの検討経過と今後の見通し】

- 現状では普通科・アカデミア科とも、渡航予定国は外国人の入国を制限しており、制限の解除時期の見通しが立たない状況である。
- 欧米諸国ではワクチン接種記録のデジタル証明書を導入する動きが広がっており、ワクチン未接種の高校生が団体で諸外国に入国することは、来年3月になんでも困難であると予想される。
- 仮に入国可能となっても、到着後に相当期間の隔離待機とPCR検査を必須とする国が多数と予想される。
- 一方で、全国の多くの学校が国内研修旅行にシフトしており、早急に代替案を検討しないと、国内での研修の計画（予約）も困難となりそうな状況である。
- 進路保障のための取組を重視するため、3年生次に海外研修を再延期することは現実的ではない。

こうした事情に鑑み、普通科・アカデミア科ともに、日本国内で体験学習や生徒同士の親睦を図れるような活動を含む研修を計画することが最良と判断いたしました。具体的には、下記のような手順で検討を進めたいと考えています。

○体験学習の希望やプログラムに関する生徒の要望を集約し、取扱業者に国内で実現可能なアレンジを依頼する。

○気候や事前学習の時間の確保を考慮し、10月21日（木）～24日（日）の行程で検討する。

○費用は海外研修のために積み立てている金額から支出する。総費用は計画が固まり次第、ご家庭に連絡し、行事終了後に清算の上、残金を返金する。

※キャンセル料について

海外研修をキャンセルしても、国内での研修を代替で実施することにより、海外研修のキャンセル料は発生しません。

なお、この件に関して、ご質問等がございましたら下記までご連絡ください。

京都市立紫野高等学校 企画部国際担当 075-491-0221(代表)